

「重点推進計画」

～世界に誇れる福島の復興・創生の実現～

主要な取組

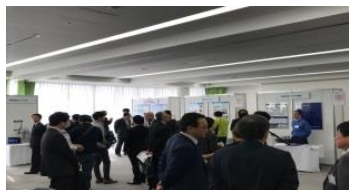
<第2部 福島イノベーション・コースト構想>

【平成30年度予算:1,170,325千円】

- 一般財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構は、本構想推進の中核的な機関となることを目指し、平成29年7月25日に福島県が設立した機構です。
- 福島復興再生特別措置法に基づく「重点推進計画」においても、推進機構を本構想推進の主要な実施主体として位置付け、国家プロジェクトである本構想の具体化を進めてまいります。
- 推進機構の主な取組イメージは、以下の通り。

重点分野の事業化支援・産業集積

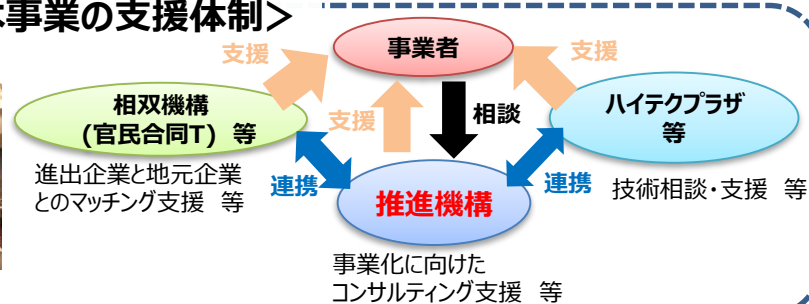
実用化開発の事業化支援やビジネスマッチングの開催など、産業集積を促進する取組を進めます。



ふくしまみらいビジネス交流会



<推進機構を軸とした本事業の支援体制>



教育・人材育成

浜通り地域等での大学等の教育研究活動や、初等中等教育のイノベーション人材育成を支援します。



県立小高産業技術高校における
ドローンを活用した実習



飯館村と東京大学との協定締結式

交流人口の拡大

拠点の活用や地域の新たな魅力創造など、交流人口の拡大に取組めます。



楢葉遠隔技術開発センター (楢葉町)



ワンダーファーム (いわき市)

公の施設の管理運営

今後福島県が整備予定の拠点について、県と一体となって管理・運営等の準備を進めます。



福島ロボットテストフィールド



情報発信拠点 (アーカイブ拠点)

情報発信

シンポジウムの開催など、総合的な情報発信を進めます。



技術開発の展示



シンポジウム

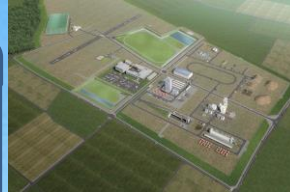
1. 福島イノベーション・コースト構想

(1) 拠点の整備及び研究開発の推進

a. 拠点の整備

ロボットテストフィールド整備等事業【6,726百万円】

無人航空機や災害対応ロボット等の実証試験が行えるテストフィールドを整備するとともに、ロボット分野の先進的な共同研究を行う国際産学官共同利用施設(ロボット)を整備する。



b. 研究開発の推進

地域復興実用化開発等促進事業【6,970百万円】

浜通り地域の早期の産業復興を実現するため、福島イノベーション・コースト構想の重点分野について、地元企業等による実用化開発等の補助を行う。



電気自動車用リチウムイオンバッテリーの再利用電源開発

(一新)チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業【453百万円】

県内企業や大学等によるロボットやロボット要素技術の研究開発に対する補助、ハイテクプラザによる研究開発、県産ロボットの導入補助、産学官連携によるふくしまロボット産業推進協議会の運営、ロボットフェスタふくしまの開催など、ロボット関連産業の育成・集積に取り組む。



福島新エネ社会構想推進技術開発事業【684百万円】

福島新エネ社会構想の実現のため、産学官の連携により県内企業の技術高度化等を支援し、再生可能エネルギー関連産業の育成・集積を促進する。



環境・リサイクル関連産業推進事業【1百万円】

ふくしま環境・リサイクル関連産業研究会の機能を生かし、リサイクル分野における事業化に向けた土台の形成を推進する。

(2) 産業集積の促進及び未来を担う人材の育成

a. 産業集積の促進

(新)福島イノベーション・コースト構想重点分野等事業化促進事業【194百万円】

福島イノベーション・コースト構想の重点分野における実用化開発プロジェクト等を中心に、各種課題の抽出・解決を図るとともに、経営戦略の構築・見直し及び地元企業とのマッチング等を進め、事業化に向けた伴走支援を行う。

原子力被災地等企業立地促進事業【15百万円】

原子力被災地域等で整備が進む工業団地への企業立地を促進するため、企業経営者等を招聘し、被災地視察・研修会を開催する。



(新)福島イノベーション・コースト構想産業集積推進事業【20百万円】

福島イノベーション・コースト構想実現に向けた産業集積を推進するため、企業誘致セミナーを開催し、マッチングの機会を創出するほか、企業誘致アドバイザーを委嘱し、戦略的に企業誘致を推進する。



b. 人材の育成

成長産業等人材育成事業【4百万円】

産業の復興に向け、テクノアカデミーにおいて、「再生可能エネルギー関連産業」、「医療機器関連産業」、「ロボット関連産業」に対応したカリキュラムの見直し等により、学生及び一部企業の在職者を対象とした人材育成を行う。



ふくしま地域創生人材育成事業【96百万円】

地域創生の実現と本県産業の復興に向け、成長産業分野やものづくり分野において、産学官連携による地域産業のニーズに対応した本県独自の人材育成の取組を行い、安定的な人材の確保・定着を図る。



(新)イノベーション人材確保支援事業【11百万円】

浜通り地域の工業高校を対象に、出前講座やバスツアー等を実施し、地元企業やイノベーション・コースト構想に関連する取組を紹介しながら、地元就職につなげる。



2. 福島県全体における新たな産業の創出等の取組

(1) 新たな産業の創出及び国際競争力強化

- ・(一新)再エネ関連産業産学官連携・販路拡大促進事業【251百万円】
- ・未来を担う再エネ人材交流・育成事業【56百万円】
- ・(新)医療機器開発促進強化事業【150百万円】
- ・(再掲)チャレンジふくしま「ロボット産業革命の地」創出事業【453百万円】
- ・(一新)航空宇宙産業集積推進事業【200百万円】



ドイツNRW州との連携

(2) 取組の迅速かつ確実な実施のための措置等

- ・ふくしま産業復興企業立地支援事業【13,137百万円】
- ・開発型・提案型企業転換総合支援事業【39百万円】
- ・(一新)スタートアップふくしま創出事業【117百万円】
- ・産業活性化プログラム【31百万円】
- ・(新)未来を担う創造的人材育成事業【36百万円】



アドバイザーの支援により開発された製品(らく碗)

目的 ①

農林水産分野においては、ロボット技術や環境制御システムなどの先端技術等の開発・実証を進め、先進的な農林水産業を全国に先駆けて実践しながらプロセスイノベーションを通じた浜通り地域等の農林水産業の復興再生を図る。

目的 ②

先進的な農業の実践を担う、担い手を確保するための農業者の組織化、新たな流通・販売ルートを有する民間企業・農業法人等の参入を促進する。

1 先端技術等の導入による新しい農業の推進

① 水稻の超省力大規模生産の推進

- ・ロボットトラクタの開発・実証 (H28~29)
- ・法面除草ロボットの開発・実証 (H28~30)
- ・100ha規模の大規模経営体の育成 (H29~30)
- ・除染後農地の地力の「見える化」技術の開発 (H30~32)
- ・高解像度衛星による水稻管理技術の開発・実証 (H30~32)
- ・ICTを活用した水管理システムの実証 (H30)

② 畑作物の大規模生産による新たな土地利用型農業モデル構築

- ・ロボットトラクタの開発・実証 (H28~29) (再掲)
- ・フロコリー収穫ロボットの開発・実証 (H30~32)
- ・たまねぎの機械化体系の実証 (H27~)
- ・土地利用型園芸品目の生産性の高い営農モデルの実践 (H30~34)
- ・ICTを活用した地下かんがいシステムの導入 (H31~)

③ 環境制御型園芸施設の整備

- ・環境制御型植物工場 (H25~) …川内村
- ・トマト、小ネギ等栽培施設 (H28竣工) …南相馬市
- ・トマトの低コスト耐候性ハウス (H28竣工) …いわき市
- ・イチゴの大規模栽培施設 (H30竣工予定) …大熊町

④ 新たな花き栽培施設の整備

- ・高度環境制御施設による鉢花栽培施設 (H26~27竣工) …南相馬市
- ・カスミノウ、トルコギキョウ栽培施設 (17棟) (H27竣工) …飯館村
- ・鉢花等栽培施設 (H28竣工) …飯館村
- ・胡蝶蘭栽培施設 (H29竣工) …葛尾村
- ・アンズリウム栽培施設の整備 (H29竣工) …川俣町

⑤ ICT等を活用した大規模繁殖共同経営モデルの構築

- ・和牛繁殖農場で活用できる個体一元管理システムの開発・実証 (H28~30) …飯館村

⑥ 浜地域農業再生研究センター等における研究開発の推進

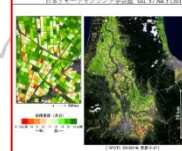
- ・営農再開・再生の段階に応じ必要な実証研究を実施 (H25~)

⑦ 農業分野への農業法人等の参入支援

- ・農業者の組織化や民間企業等に対する地域の中核的な担い手としての農業参入に向けた支援 (H30~)



【ロボットトラクタ】



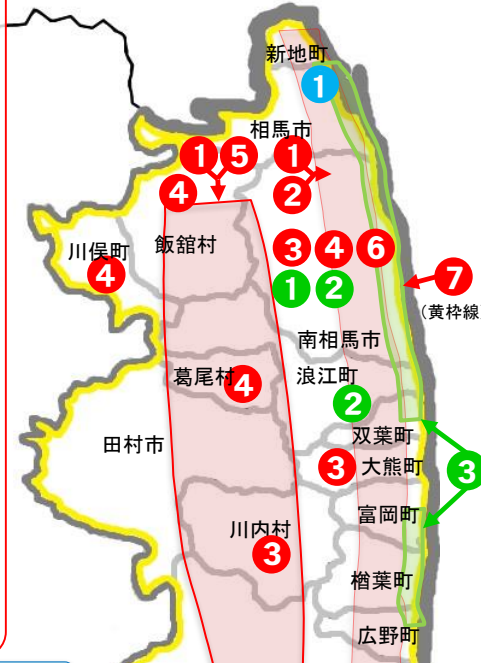
【衛星による水稻管理技術のイメージ】



【環境制御型施設でのトマト栽培イメージ】



【畜産型農場のイメージ】



2 県産材の新たな需要創出等の推進

① 航空レーザ計測の実施

- ・路網整備計画の策定及び森林情報の把握…南相馬市ほか (H30~)



【航空レーザ計測の活用イメージ】

② CLT等県産材の需要拡大と供給体制の整備

- ・集成材製造施設の整備 (H30~) …浪江町
- ・メタン発酵による木質バイオマス活用実証・導入 (H28~) …南相馬市

③ 林業用ロボットの開発・導入

- ・苗木植栽ロボットの開発・実証 (H28~)

3 水産研究拠点の整備による新たな水産業の確立

① (仮称) 水産資源研究所の整備 (H30供用開始予定)

- ・東日本大震災で全壊した施設を復旧し種苗生産・放流研究機能及び種苗生産・供給体制を再構築



【(仮称)水産資源研究所の完成予想図】

② (仮称) 水産海洋研究センターの整備 (H31供用開始予定)

- ・原子力災害に起因する新たな研究課題等に対応するため現水産試験場を機能強化



【(仮称)水産海洋研究センターの完成予想図】

③ 技術開発・実用化の促進

- ・県産水産物の販路及び消費を回復し、資源を管理しながら、水揚金額を拡大する「ふくしま型漁業」の実現に向けた研究の推進

避難地域 12市町村の生活環境の整備状況

避難地域12市町村に必要な、地域公共交通、商業、医療・介護・福祉等の生活環境整備を着実に進めています。

◆12市町村の生活環境 整備状況

医療…… 教育…… 福祉…… 商業…… その他……

飯館村

- 特養いいたてホームは、震災直後から運営を継続。
- 平成28年9月 医療機関「いいたてクリニック」が診療を再開。
- 平成29年8月 「いいたて村の道の駅 までい館」がオープン。
- 平成30年4月 小中学校、認定こども園が村内で再開予定。



川俣町

- 平成28年10月 山木屋診療所が診療を再開。
- 平成29年7月 復興拠点商業施設「とんやの郷」がオープン。
- 平成30年4月 小中学校が山木屋地区で再開予定。



葛尾村

- 平成29年4月 「マルイチ商店」が再開。
- 平成29年7月 「石井食堂」「ヤマザキショップヤマサ」が再開。
- 平成29年11月 葛尾村診療所が診療を再開。
- 平成30年4月 小中学校、幼稚園が村内で再開予定。



田村市

- 平成23年7月 都路診療所、歯科診療所が再開。
- 平成24年3月 特養都路まどか荘が再開。
- 平成28年3月 洋菓子店「みやこビスuitsゆい」がオープン。



川内村

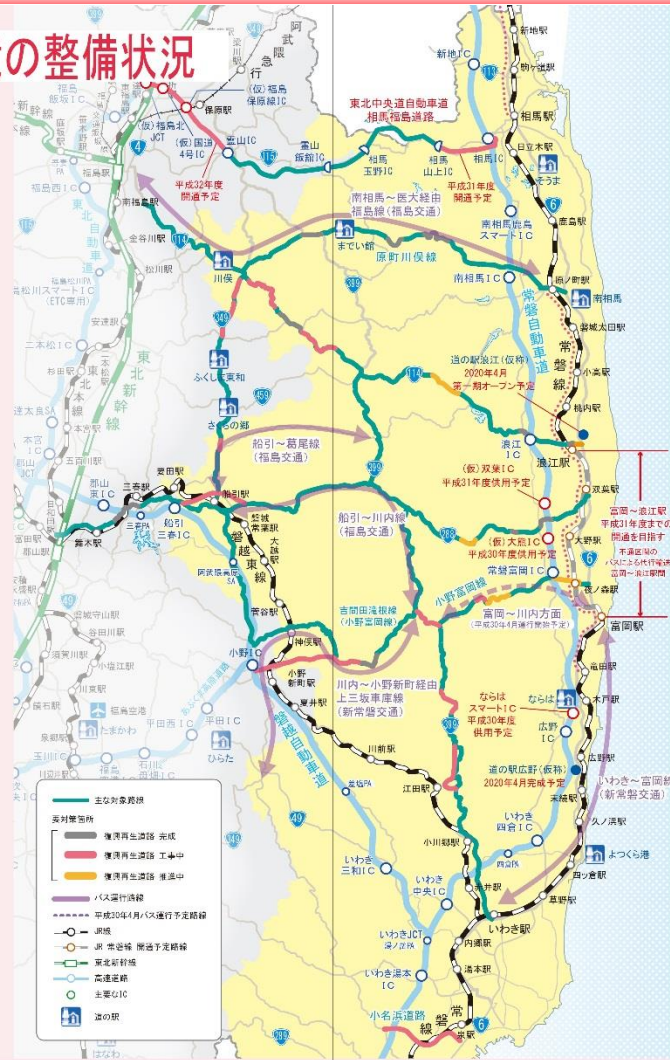
- 平成24年4月 村立保健・福祉・医療総合施設「ゆふね」が再開。
- 平成27年11月 特養かわうちが開所。
- 平成28年3月 複合商業施設「ショッピングセンターY0-TASHI」がオープン。
- 平成28年4月 川内中学校敷地内において、室内型村民プール「もりたろうプール」がオープン。
- 平成28年11月 「カフェアミゾン」がオープン。(日本1号店)



◆「ふくしま復興再生道路」対象路線

- ①国道114号
- ②国道288号
- ③国道349号
- ④国道399号
- ⑤県道原町川俣線
- ⑥県道小野富岡線
- ⑦県道吉間田滝根線
- ⑧小名浜道路

福島復興を推進する上で重要な路線として、重点的に整備を進めている。



- ### ◆避難地域における広域バス路線
- ①いわき～富岡線
 - ・平成29年4月運行開始
 - ②船引～川内線
 - ・平成29年4月運行開始
 - ③船引～葛尾線
 - ・平成29年4月運行開始
 - ④川内～小野新町經由上坂車庫線
 - ・平成29年10月運行開始
 - ⑤南相馬～医大經由福島線
 - ・平成29年10月運行開始
 - ⑥川内～富岡線
 - ・平成30年4月運行開始予定

南相馬市

- 平成28年4月 市立小高病院が週5日の外来診療を再開。
- 平成29年4月 小高区の小中学校、幼稚園が再開。
- 平成29年4月 小高商業高校と小高工業高校を統合し、小高産業技術高校が開校。
- 平成29年4月 小高調剤薬局が再開。
- 平成29年12月 老健ヨッシーランドが再開。
- 平成30年4月 特養梅の香が再開予定。
- 平成30年12月 小高区内に公設の商業施設がオープン予定。



浪江町

- 平成28年10月 仮設商業共同店舗「まちなみまるしえ」がオープン。
- 平成29年3月 浪江診療所を役場敷地内に開設。
- 平成29年12月 浪江町特定復興再生拠点区域復興再生計画が認定される。
- 平成30年4月 小中学校、認定こども園が町内に新設され開校予定。



双葉町

- 平成29年9月 双葉町特定復興再生拠点区域復興再生計画が認定される。
- 平成30年3月 「JR双葉駅構上」を含む「駅西地区生活拠点」が都市計画決定予定。



大熊町

- 平成29年11月 大熊町特定復興再生拠点区域復興再生計画が認定される。
- 平成31年4月 大川原地区に役場新庁舎が完成予定。



広野町

- 平成24年4月 特養花ふさ苑が再開。
- 平成25年1月 広野薬局、馬場医院が再開。
- 平成27年4月 ふたば未来学園高校を開校。
- 平成28年3月 公設商業施設「ひろのてらす」がオープン。
- 平成30年7月 「Jヴィレッジ」が一部再開予定。
- 平成31年4月 認定こども園が開園予定。



檜葉町

- 平成28年2月 県立ふたば復興診療所(内科、整形外科)が開設。
- 平成28年3月 特養リリ一園が再開。
- 平成29年4月 小中学校、認定こども園が町内で再開。
- 平成30年6月 美ふるタウンならはにに公設商業施設「ここなら美店街」がオープン予定。
- 平成30年7月 「Jヴィレッジ」が一部再開予定。
- 平成31年 春 屋内体育施設がオープン予定。



富岡町

- 平成28年10月 とみおか診療所が開設。平成29年4月に富岡中央医院が再開。また、平成30年4月に、2次救急医療機関「ふたば医療センター」が開設予定。
- 平成29年3月 複合商業施設「さくらモールとみおか」がグランドオープン。
- 平成29年10月 富岡ホテルがオープン。
- 平成29年12月 ふくしま心のケアセンターふたば出張所が開所。
- 平成30年3月 富岡町特定復興再生拠点区域復興再生計画が認定される。
- 平成30年4月 小中学校が町内で再開予定。



構想をけん引するトップリーダー・構想の即戦力となる専門人材の育成（高等学校）

福島イノベーション人材育成 広域連携事業

(9,268千円)

○専門高校高度人材育成事業

- ・企業と連携した講義や実習を実施。
- ・最先端施設における研修等による教員の指導力向上
- ・企業や研究機関から講師を招聘し、ロボット制御や開発に関する講義・実習等を実施。
- ✓中通り・会津地方の工業・農業・商業科の高校（19校）
- ✓水産高校（いわき海星高校）



福島イノベーション人材育成実践事業 (367,382千円)

○トップリーダー人材の育成

- ・構想の実現と本県の復興・創生に貢献する高い志を持ったトップリーダーとなる人材を育成。
- ・地域企業や大学等と連携し、課題探究学習を実施。
 - ✓磐城高校（福島スーパー・イノベーション・ハイスクール）
 - ✓相馬高校
 - ✓原町高校

○工業人材の育成

- ・地域企業や大学等と連携した講義、実習、テーマ研究等を実施し、構想の即戦力となる工業人材を育成。
 - ✓平工業高校
 - ✓勿来工業高校
 - ✓川俣高校

○農業人材の育成

- ・地域において革新的な農業を展開できる人材育成に向け、地域の生産者や販売施設と連携した実習や、先端技術に関する学習を実施。
 - ✓磐城農業高校
 - ✓相馬農業高校



スーパーグローバルハイスクール事業

(12,592千円)

○ふたば未来学園高校（H27.4開校）

- ・アクティブ・ラーニングを教育活動全体で展開し、主体性、協働性、創造性をもった、変革者たる人材を育成。
- ・平成31年4月には併設中学校が開校し、併設型中高一貫教育を開始予定。



スーパー・プロフェッショナル ・ハイスクール事業

(4,000千円)

○小高産業技術高校（H29.4開校）

- ・構想を担う人材育成に向け、大学や企業との連携によるロボット工学や再生可能エネルギー技術、ビジネス等に関する教育を展開。



イノベーション人材育成の裾野拡大（小中学校）

- 未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業（11,923千円）
- グローバル人材を育む小中連携英語教育推進事業（13,812千円）
- 福島県教育復興推進事業（18,190千円）

- ・構想の実現に貢献する人材育成の裾野を広げるため、小中学校段階から理数教育やグローバル教育、地域理解を深める学習を展開。



福島イノベーションコースト構想 推進機構を核とした推進体制

○福島イノベーション人材育成支援事業（20,000千円）

- ・イノベーション人材育成に取り組む高校を支援するコーディネーターの配置。
- ・イノベーション人材育成の取組の情報発信 等

○福島イノベーション人材育成調査事業（20,000千円）

- ・水産高校における教育プログラムに関する可能性調査。
- ・地域内各高校への波及等に関する可能性調査。